



園便り 霜月

平成28年11月1日
こころの保育園文京西片

先日、5歳児クラスとお出かけプログラム「森のとびら」に行ってきました。「森のとびら」は、電車に乗って王子にある飛鳥山公園に行くプログラムで、例年3月までの間に7回程度実施しています。6月以来4回目となる「森のとびら」で、木立の中を歩きながら木々の葉が色づいているのを見て、飛鳥山公園でも季節の移ろいを感じてきました。そして今回も、いつもと同じ岩の陰で子ども達はカエルを見つけ、慣れた様子でカエルに触ったり、遠巻きにして眺めたりしていました。他にも土手滑りやかくれんぼを楽しみ、広場での遊びを満喫していました。

涼しい気候の中、保育園で一番小さい1歳児クラスの子ども達も、張り切って散歩に出かけています。その歩みは小さくとも、やがては力強い足どりとなって飛鳥山公園にも行くようになり、思いっきり走るようになることなのでしょう。1歳児さんの散歩にも5歳児さんの森のとびらにも共通するのは、子ども達が「探索活動」を楽しむ姿です。興味、好奇心を持つことが、子どもが“遊びたい”と思う気持ちにつながるのは当然ですが、「探索活動」は、すっかり人の手が入った箱庭のような小さい公園よりも、三四郎池や飛鳥山公園のようなある程度自然の造形が残されている環境の方が探索活動には打ってつけです。例えば雨上がりの後は地面が滑りやすくなることや、落ち葉の下にドングリが隠れていることなど、大人にとっては何でもないことでも、子どもにとっては予想外の驚きや、思いがけない発見がたくさんあります。その発見を友達と共有することで、人と関わる楽しさが生まれるでしょうし、傾斜の急な土手を上るのが難しいとき、頼りになるのは手を差し伸ばしてくれる「人の力」であるということに気づくことなのでしょう。予想外といえば、先ほどの飛鳥山公園で見つけたカエルは、食事の時になってカラスが捕まえてしまい、カラスがくちばしに咥えて目の前を悠々と飛び去って行く姿に、子どもたちも目を丸くしていました。捉え方はさまざまですが、厳しい生き物の世界の一端を見たわけで、これも貴重な経験であることには違いありません。

子ども達と過ごしながらたくさんの発見ができることを感謝しながら、日々の生活を大切にしていきたいと思います。

宮島 洋

11月の予定

11月 2日(水) 4・5歳児クラス芋堀遠足

(9:30 出発 13:30 帰着予定 雨天時:しながわ水族館)

秋季健康診断 (15:15~16:30 全てのクラスが対象です)

※お迎えが16:30までになる方は、予めお知らせください。

11月 7日(月) 避難訓練 (14:45~15:00) ※日程が変更になっています。

11月10日(木) 身体重測定



12月の予定

12月 7日(水) 1歳児健診

12月10日(土) 子ども会(発表会)

12月12日(月) 身体重測定(午前中)

12月15日(木) クリスマス会

12月27日(火) おもちつき

※12月29日(木)~1月3日(火) 年末年始の休園日



保育士体験について

保育士体験を随時受付けています。10月は4名の方が来ていただきました。

11月は現在2名の方が申し込まれています。

(園の予定もありますので、予め希望の日をお知らせ頂き、調整のうえ実施となります)。

今月の地域活動プログラム

11月9日(水)・17日(木)・22日(火) 午前中 「体験保育」

保育園に通っていないお子さんに、保護者の方と一緒に乳児クラスに遊びに来てもらう内容です。



ほけんだより

例年、11月から2月の時期は感染性胃腸炎(ノロウイルス等)が流行すると、保健局から連絡がありました。手洗いうがいをしっかり行い、感染予防に努めていきたいと思います。(佐藤衣里)

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、人から人へと感染する場合と、汚染した食品を介しておこる食中毒に分けられます。

- 感染した人の便や吐物に触れた手指を介して。
- ノロウイルスを内蔵に取り込んだカキやシジミ等の二枚貝を、生や不十分な加熱処理で食べた場合。
- 感染した人が十分に手を洗わずに調理した食品を食べた場合。
- 感染した人の吐物や糞便が乾燥して塵となり、ウイルスを吸い込んだ場合

感染予防のポイント

- ① きちんとした手洗い
- ② カキ等の二枚貝を調理する時には中心部
- ③ 吐物処理の知時は塩素系の漂白剤を使用する

正しい手洗いを

手洗いで予防できる病気はたくさんあります。正しく洗って、健康に過ごしましょう!

せっけんを泡立てて……

- ① てのひら
- ② 手の甲
- ③ 指の間
- ④ 指先、つめ
- ⑤ 手首
- ⑥ 洗い流す

チエック!
指と指の間、指先、手首は洗い残が多いよ。念入りにね

薄着の習慣は 秋 からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたりしますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする

大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。



そろそろインフルエンザの予防接種をされるご家庭も増えてくると思います。予防接種を受けたあとは体調が変化することもありますので、おうちでゆっくりできるよう、ご協力をお願い致します。

また、毎月身体測定後にお返りする『けんこうのきろく』に、予防接種の記録も、その都度追加して頂きますよう、お願い致します。